

分野（３）

ぜん息発症予防・健康回復のための知識の体系化に関する調査研究

②成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導の実践に関する調査研究

研 究 課 題 名： 吸入ステロイド薬服薬指導の実態と効果的な病薬連携、
指導プログラムによる長期管理改善に関する調査研究

調査研究代表者氏名： 森 晶 夫

評価コメント

○吸入ステロイドの吸入指導法について、薬剤師に注目してその実態を把握し、サポートプログラムを作成したことは評価できる。

○吸入ステロイドの使用方法について、薬剤師の協力を得ることは、最も現実的でコストもかからず合理的な方法である。吸入ステロイドの使用方法については、それを作っている製薬会社の担当が一番良く知っていると思われるので、製薬業界とも連携してその協力を得ることがより一層効果をあげるのではないだろうか。実際に効果がどの程度見られたか、そのアウトカムを正確に評価することが大切である。

○全体的によくデザインされていると思う。吸入ステロイドの正しい用い方について、薬剤師と連携するのはもっとも現実的な方法で効果が期待できる。患者が正しい方法を習得するには、繰り返し習うことが必要であり、そのため分かりやすいパンフレットを作成したのは適切である。ただ、その効果（研究のアウトカム）をどのようにして判定するかが重要である。

○本セミナーによりある程度の効果を上げているが、集団的指導とは異なり、eラーニングシステムはどこでも好きな時間に研修できるメリットがあり、次年度のこの教材を用いた成果に関する研究が期待される。

○薬剤師の活用は大いに評価すべきだが、個別の患者の問題点等は医師と薬剤師の相互連携を密にする必要がある。

○薬剤師が実演したあと、患者がその場で実演指導を受けているのかまでを評価に加えて欲しかった。大林班と同様、本研究費で開発したプログラムは特定の学会、協会員のみでなく、多くの関係者に公開されるのが望ましい。

○ICS吸入療法についての病薬連携については、大林先生の研究と重複するところが大きい。

○斬新性に乏しい研究の様に思われる。